

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年9月21日作成

活性化計画名	霧島市春山地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
霧島市	462187	1	平成25年度～平成29年度	平成25年度～平成26年度
活性化計画の区域				
春山地区（鹿児島県霧島市）区域面積（616.0ha） <ul style="list-style-type: none">・当該地区の面積は616.0haであり、うち農用地面積は166.3ha、森林面積は347.4haで、全体の約56.4%を農林地が占める地域である。・当該地区の就業者数は76名であり、うち30名が農林水産業に従事しており、その割合は39.5%である。・当該地区春山台地に展開する農用地は、その大部分が畑と樹園地から形成されており、露地野菜、施設野菜及び果樹に適した農地としての利用を推進するとともに、都市型農業としての特徴的な観光農業の充実を図るための土地利用を進めている。・当該地区では、農業生産法人1社、農事組合法人1団体、国分観光農園農家6戸が果樹栽培による観光農園を経営しており、地区内全体の就業者数は、観光農園に従事している農業従事がほとんどであることから、農業が地域の基幹を占める地域である。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域農産物の販売額の増加				
金柑の販売額	7,776,000円	5,725,000円	73.62%	
金柑等の加工品販売額	32,800,000円	23,000,000円	70.12%	
交流人口の増加				
観光農園の来園者数	167.5%	122.04%	72.85%	

(コメント)

地域農産物の販売額について、目標数値に達しなかったが、今後、金柑は生産量の増加が見込まれ、平成29年6月供用開始した交流施設（物産館）の活用により金柑の販売額、加工品販売額の更なる増加が見込まれる。

交流人口の増加について、目標数値に達しなかったが、今後、交流施設（レストラン・物産館）活用により観光客が増え、更なる交流人口の増加が見込まれる。

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値A = (目標値/現状値) × 100 - 100、実績値B = (実績値/現状値) × 100 - 100

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
地域連携販売力強化施設 高生産性農業用機械施設 リサイクル施設 自然・資源活用施設	生産処理加工販売促進施設（鉄骨造平屋建て 548.8 m ² ） 低コスト耐候性ハウス施設（金柑栽培ハウス 3,080 m ² ） 堆肥製造施設 （鉄筋コンクリート造屋根鉄骨造 1,386 m ² ） 場内使用ショベルローダー（CAT910H） 木チップボイラー施設 （木質バイオマスボイラーSEW - 50 型） ボイラー室（鉄骨平屋建て 136 m ² ）			農事組合法人 霧島さくら農園
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
農事組合法人霧島さくら農園	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 26 年 6 月 1 日	
事業の効果				
<p>事業実施により、果樹（金柑・ぶどう・梨・ブルーベリー等）の生産量増加が図られ、それを原料にした加工品等の販売額も増加した。その事により、農業関連産業のみならず、地域農家との連携も図られ地域住民を含む新規雇用の創出に繋がった。</p> <p>また、都市農村の交流が図られた事で、春山地区に 14.2 万人（計画最終年度）訪れ当初計画時より 8.2 万人増加した。その結果、農山漁村における雇用の確保及び交流人口の増加が実現され、春山地区の地域活性化につながった。</p>				

3 総合評価

<p>（コメント）</p> <p>「平成 25 年春山地区活性化計画」における事業を実施した結果、計画目標数値に達しなかったが、交流人口増加や金柑等販売額増加の活性化計画目標設定については、概ね実現できたのではないかとと思われる。</p> <p>さらに、平成 28 年度より「平成 28 年霧島市春山地区活性化計画」に基づき、農業交流施設（平成 28 年度）、農林業体験施設（平成 29 年度）が整備され、現在、ワイン施設等の整備を進めており、この施設を活用することで、観光客の誘客、農林業体験による都市との交流促進、施設運営従業員の確保、地域農産物の販売を図ることで、更なる春山地区の地域活性化につながる。</p>
--

4 第三者の意見

<p>（コメント）</p> <p>さくら農園の開業により、集客の増加も見られ同地区の観光農業に一定の相乗効果も見られる。現在も交流の拠点となる施設の整備も進んでおり、地域活性化に寄与している。</p> <p>また、高齢化による環境維持が厳しい状況においての保全組合活動や、多面的機能事業における会計業務へ積極的な参加と協力をしていただき、活動への貢献度も高い。</p> <p>今後も、地元の農園とも連携し、交流人口の増加などによる更なる地域活性化の原動力となることを期待したい。</p> <p>上場地区環境保全協議会 会長 岩元 一郎（岩元農園代表）</p>
